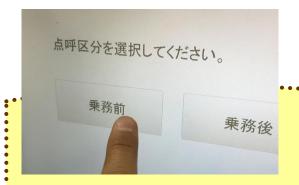
●●● 運輸・交通システムEXPO2016 発表資料



『運行指令に重点を置いた IT点呼システム』

株式会社 ボルテックスセイグン 安全品質環境統括部 宇佐見和宏

www.vortex.gr.jp



環境の変化を IT点呼システムへ反映





● ● ● H24年度高齢・障害・求職者雇用支援機構との共同研究

群馬三大学(前橋工科大学・前橋国際大学・高崎経済大学)との大学連携

研究計画 危険物取扱事業者向IT点呼システム開発

運転手側

高齢者でも対応可能な単純な申告システムに

管理者側



タッチパネルで自己申告、アルコール、 血圧、点検情報 取扱免許証、向先情報 MSDS、ブルーカート ※運送履歴DB作成AI化



IT点呼

業務へ



申告情報に基づき、業務遂行能力を判断。 可能なら、運行指示



●●● 運行指令機能付IT点呼システム(運転手側)

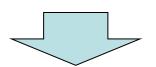


- ・コストを下げるために、タッチパネルのタブレット端末を採用
- ・個人ID入力を簡略化し、静脈認証で簡単にログイン
- 運行前の健康状態を血圧及びアルコール濃度を申告し記録管理
- ・運行内容の確認実施。結果を一運行毎に点呼簿に記録印刷

●●● 運行指令機能付IT点呼システム(管理者側)



- ・ 運行管理者サポート システムとして機能配備
- アルコールチェック完了後に点呼を開始
- ・ 国土交通省が推奨して いる点呼業務で求めら れる品質をカバー



万一の事故時でも、 点呼の補助資料として 当局に提出可能な内容 を満たす。

●●● 本システムの特徴

行政当局への監査対応

不慮の事故が発生した際にも、適正な点呼内容証明ができる

点呼品質の向上

ベテランの運行管理者並の点呼レベルを確実に実施可能

利便性の向上

IDの静脈認証で瞬間認証、点呼簿の一括印刷が可能

セキュリティの向上

アルコールチェック時の写真撮影で偽装点呼を防止できる







②遠隔健康指導システム





● ● ● H 25-26年度高齢・障害・求職者雇用支援機構との共同研究

群馬三大学(高崎経済大学.前橋工科大学.前橋国際大学)と産学連携

研究計画 遠隔健康指導システム開発と実証

管理者側

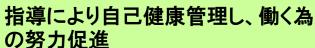
昼間は健康指導、夜間は点呼システムで稼働

運転手側



個人記録に基づいた遠隔健康 指導実施 健康指標、疾病履歴、 運送履歴DB作成クラウド化 (デジタコ、ドラレコ、適正検査等)





管理用PC

※生態情報の画面認証

WEBカメラ

(脈拍、血圧、表情、携帯品他)





••• 本システムの特徴

有所見者の再検率の向上

保健指導により、社員の健康意識啓発や、再検率向上を図ることが可能。

継続的で客観的な健康指導

経年変化を把握できるため、継続的な保健指導と自己管理が可能。

利便性の向上

複数・遠隔営業所であっても、本社の保健師1名で対応可能。 スケジュール予約機能で、仕事の合間に保健指導を受けることができる。

セキュリティの向上

個人の健康診断結果は、ID/パスワードにより管理され、本人と許可された社員(上司・保健師・人事部)しか閲覧することが出来ない。

- ●●● 健康管理室 *平成24年~
 - 社員の定期健康診断後、診断結果を保健師が確認、産業医の指示により必要がある社員に保健指導を行い、健康の向上に努めています。平成26年より遠隔健康指導システムを利用し、各営業所の社員にも保健指導を開始しました。





20分~30分/回の問診。最適な健康づくり「行動目標」を共有

自分の努力で、長く働ける仕組み

●●● 遠隔健康指導システム(保健師側)

面談社員の動画像



指向性マイク

病院により形式の異なる定期健康 診断データを一括管理

メタボ指標などの社内基準に 基づきイエローカード表示

保健指導日、指導時間をスケジュール管理可能

再検査指導機能、及び再検査促進のための文書発行機能有

健康管理の 企業風土形成

●●● 遠隔健康指導システム(社員側)



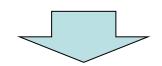
タブ切替

保健指導の履歴 健康診断の履歴 IT点呼連携機能 SASスコア記録 ストレスチェック

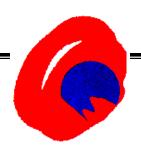
社員自身と保健師の 遠隔対面動画

健康管理 詳細データ

保健指導中は、保健師の表示した画面が 社員側に表示される



自己管理の動機付け









安全が全てに優先する



